

○令和 5 年度目標達成状況

No.	項 目	令和 4 年度		令和 5 年度		検証および今後について
		目標値	実績	目標値	実績	
1	福祉コミュニティエリアにおける 居住者数（累計）	500人	463人	500人	519人	居住者数が増えた主な要因は、令和 4 年度以降介護施設 3 か所が相次いで再開し、入居者が順調に伸びたことによるものであり、令和 5 年 6 月以降は、3 施設ともほぼ満床となっている。また、宅地は令和 3 年度末で全 101 区画が売却済みとなっており、住宅も概ね建設済みである。 これらのことから、今後は居住者数が大きく増えることはなく、横ばいで推移するものと予測される。
2	市外からの移住者数（累計）	50人	41人	50人	42人	宅地が完売したこともあり、移住者数の伸びは緩やかになっている。今後も顕著な伸びは見込めないものと予測される。
3	施設運営に係る雇用人数（累計）	360人	382人	360人	350人	令和 5 年度の実績は前年度実績を下回っており、目標値に届いていないが、これは、エリア内の 6 つの介護施設の職員数が一時的に減ったことが要因である。 今後は雇用者数の大幅な増加は見込まれないが、おおむね目標値を超える水準を維持するものと予測される。
4	生涯活躍のまち形成による経済効果	7.69億円	17.84億円	7.64億円	17.68億円	令和 3 年度で宅地が完売し、建設需要が概ね終息したため、前年度よりも減少しているが、エリア内にスーパーマーケット等の商業施設があることから、引き続き目標値を上回ることが予測される。
5	地域福祉の相談件数	72件	75件	72件	21件	実績は前年度を下回っているが、これは、エリア内で休止していた介護施設が再開し、介護や福祉に関する相談の受け皿が増えたことや、多世代交流センターが「福祉に関する相談窓口」よりも「地域住民の交流の場」として認知・活用されていることなどが要因であると考えられる。 今後も様々な相談に対応できるよう、関係機関との連携に努めていく。
6	ボランティア人数	250人	25人	250人	45人	前年度を上回る実績となっており、今後、新型コロナウイルス感染症対策による影響が一層軽減し、イベント等の活動が活発になっていくと、さらに増加することが期待される。

※令和 4 年度の実績に誤りがあったため、No. 1 ～ 3 の数値を補正している。